

令和7年6月24日

稲沢市議会議長

吉川 隆之 様

広報広聴委員会

稲沢市議会 議会報告会 報告書

開催日時	令和7年5月17日（土）
	午前10時～午前11時30分
開催会場	稲沢市勤労福祉会館
来場者	62人
出席議員	26名

■ 概 要

第1部：報告会	第2部：意見交換会
(1) 開会の挨拶 (2) 議長挨拶 (3) 総務委員会の報告 (4) 文教厚生委員会の報告 (5) 経済建設委員会の報告	(1) テーマの説明 (2) テーマに関する意見交換 ・ 総 務 委 員 会：安心安全なまちづくり ～特殊詐欺等の防犯対策や交通事故防止対策について～ ・ 文教厚生委員会：認知症当事者にやさしいまちづくり ～認知症カフェ等の拡充、当事者の生きがいについて～ ・ 経済建設委員会：住みやすいまちづくり ～土地・住宅の未来について～ (3) 閉会の挨拶

委員会からの総括

<総務委員会> テーマ「安心安全なまちづくり」

～特殊詐欺等の防犯対策や交通事故防止対策について～

今回の総務委員会では、市民の皆様とともに「安心安全なまちづくり」をテーマに意見交換を行いました。特に近年増加する特殊詐欺や交通事故に対する具体的な対策について、さまざまな声が寄せられました。特殊詐欺では、ネット通販での詐欺被害や、警察・裁判所を装った電話詐欺の実例が報告され、年齢や性別を問わず誰もが被害者となり得る現実を共有することができ、参加者の方からは市民の防犯意識の向上のため、愛知県警公式アプリ「アイチポリス」で提供される情報を市が活用する提案などもありました。その他、市民の皆様が安心して相談できる窓口の整備や、消費生活センターの機能強化、また統計上詐欺被害に遭いやすいとされる65歳以上の女性への啓発も重要であることなど、我々議員も今後の課題として再認識する事ができました。

交通安全面では、信号機の設置や横断歩道の整備、通学路の安全確保など多くの要望がありました。特に歩道の見通しを妨げる空き家からの樹木の管理等については、市の迅速な対応が求められています。また、来年度開催のアジア競技大会では本市のエントリオが会場のひとつとなります。市議会からも今後開催予定の各種イベントでの交通渋滞や事故の防止、防犯活動に向けての予算要望をして欲しいというお声もありました。

市民の皆様の声をもとに、今後も議会として安全・安心なまちづくりのため市に積極的に働きかけてまいります。最後に、当委員会の分科会へご参加いただき貴重なご意見を頂きまして誠にありがとうございました。

<文教厚生委員会> テーマ「認知症当事者にやさしいまちづくり」

～認知症カフェ等の拡充、当事者の生きがいについて～

稲沢市議会において、認知症に関する一般質問が多く取り上げられており、昨年度の議員研修会においても、認知症に関する勉強会を実施した経緯もあることから、認知症を意見交換会のテーマとさせていただきました。

意見交換会においては、認知症カフェ等の運営を行っている方の参加もあり、認知症カフェの立上げや運営方法、補助金の活用などについての質問やご意見をいただきました。認知症の方、家族の方、認知症に関わる多くの方に参加いただくために、主催者の方が広報活動にも熱心に取り組んでおられるとのことでした。人が集まりやすい場所で開催することが大事ではないかのご意見もありましたが、利用者がいなかったとしても定期的にカフェを開催することで、認知症に関する理解を深めることや担い手を確保することに意味があるとの貴重なご意見もありました。

また、現在、認知症カフェは市内に8ヶ所ありますが、全地区にあるわけではありません。多くの方が気軽に利用できるように、認知症の活動団体を増やしていくことは、本市の今後の課題です。ご意見のあった、高齢者ふれあいサロンを有効に活用することも一つの対策だと考えます。

一方で、認知症の家族にとって、当事者を外に出すことへの抵抗があるのも事実です。認知症の

方が仕事をしたり、外に出てこれるような環境づくりを求めるご意見もございました。

皆様よりいただきました、認知症カフェの予算の増額、認知症当事者の生きがいづくり、高齢者ふれあいサロン等の交流の場の発展、認知症カフェの宣伝広報の強化について、行政へ要望をしてみたいです。

最後に、認知症カフェの運営に関する議論が中心となり、認知症当事者の生きがいなどの議論が十分にできなかったことをお詫び申し上げます。ご参加いただき貴重なご意見をいただきましたことに深く感謝を申し上げます。

＜経済建設委員会＞ テーマ「住みやすいまちづくり」

～土地・住宅の未来について～

「住みやすいまちづくり」をテーマに、市民の皆様と率直なご意見を交わすことができました。特に地産地消、土地利用、地域活性化、防災、そして生活環境に関する課題など、生活に直結する幅広い分野について多くのご意見を頂きありがとうございました。

地産地消については、「農業者への周知が足りない」「取組みが小規模で中途半端」といった声があり、軽トラ市や地元農産物を活用したカレーイベントなどの取組みについても、より積極的な広報や拡充を求められました。

土地利用では、小池・正明寺地区の市街化や耕作放棄地の増加に対する対応、産廃業者の進出による住環境悪化への不安など、地域の将来にかかわる切実な声が多く寄せられました。市街化調整区域の土地利用には法的制約があることを説明しつつ、今後も制度の周知と対話の充実を図っていきます。

また、防災かまどベンチの使用方法や個人宅の剪定枝処理への支援、道路・橋梁整備の遅れといった生活に密接した課題も提起されました。

さらに、町内会加入への違和感や、若い世代が住みにくさを感じているとの声もあり、地域コミュニティのあり方や公共交通・インフラ整備の重要性を改めて認識しました。

今回の意見交換会では、市民の皆様から現場に根差した切実な声を多数いただきました。「暮らしに直結する」課題を、制度面・運用面の両面からしっかりと受け止め、経済建設委員会として政策提言につなげてまいります。

特に農業や土地利用、防災・環境整備の分野では、中長期的な視点での取り組み強化が必要です。市民の皆様の声を大切に、「住みやすさ」の向上に一步ずつつなげてまいります。

■ 広報広聴委員長の総括

今年度の議会報告会はあいにくの雨天となりましたが、多くの皆様にご参加いただきました。これも市議会に対する関心の高さと期待の表れであると感じております。身の引き締まる思いです。ありがとうございました。昨年、コロナ禍明け5年ぶりに開催した議会報告会で頂いたご意見や議員間での反省点を活かし、今回は、午前午後の2会場での実施から1会場に絞っての実施や各委員会からの報告方法の改善と周知を図るための広報活動や稲沢市議会ののぼり旗の制作などを行いま

した。その結果、昨年は2会場合わせて88名のご参加でしたが1会場で62名のご参加を頂き、うち初めての方は半数を超えていました。

しかしながら、ご参加いただいた皆様からのアンケートでは、第一部報告会の満足度は「良かった」「まあまあ良かった」合計72.5%、第二部意見交換会の満足度は同合計75.5%。次回の参加について「また参加したい」は67.34%でした。

こうした結果を踏まえて、皆様から頂きました市政、議会に関するご意見、ご要望を反映するべく、しっかりと活動して参りますとともに、議会報告会の改善も続け、皆様と近い「稲沢市議会」となるよう広報広聴活動に努めて参ります。

以上